

児童虐待防止や災害支援「三大奉仕団体」 キワニス 県内初設立

初代会長に下山さん選出

世界的な社会奉仕団体「国際キワニス」のメンバークラブが本県に初めて設立される。名称は「群馬キワニスクラブ」。5日、設立に向けた総会を太田市内で開き、初代会長に下山（しもやま）麻由（まゆ）さん（48）を選出した。8月26日に正式に発足し、見



下山麻由さん



役員の選出などを行った設立総会

児童虐待防止の啓発や闘病中の幼児の支援などに取り組む。群馬キワニスクラブは、県内企業の経営者らを中心とする会員19人で構成。今後は会員増強を図るとともに、児童虐待防止の啓発や闘病中の幼児の支援、災害支援などの活動、地域の団体・企業との共同イベントの開催などを計画している。

設立総会には関係者ら約20人が出席し、副会長や理

事ら役員を選出。意見交換会や懇親会も行った。下山さんは「同じ志をもった仲間と共に、若く柔軟な発想を生かして多くのことに挑戦したい」と抱負を述べた。来賓として出席した日本地

区ガバナ―、林隆秀さん（鹿児島キワニスクラブ）は「新クラブが設立されうれしい。キワニスの理念を共有し、活動してほしい」などと話した。

キワニスは1915年に

米国で設立され、「ロータリークラブ」「ライオンズクラブ」と並ぶ世界三大奉仕団体の一つとされる。2019年12月15日時点で、85カ国に約7400クラブ（会員約19万人）あり、国

連児童基金（ユニセフ）と共同で妊産婦・新生児の破傷風撲滅運動などに取り組んでいる。日本では東京、大阪、愛知、福岡など30以上の都道府県で40クラブが活動している。（中村穂高）